

第11号
2018年
2月号

キーモンくん みやこころちゃん

GEO

発見新聞



三陸ジオパーク
Sanriku Geopark



彩り豊かな原生林 十二神山

十二神山、行ったことがありますか？重茂半島の中心部に位置し、高さは731メートル。山の東側は、十二神山自然観察教育林として、自由に散策できる森になっています。森の入り口に堂々たる姿を見せていた大ケヤキは、一昨年の台風で倒れてしまいましたが、それでもここは、樹齢150年を越す様々な巨木が見られる森。宮古の市街地から約1時間で行くことができ、季節ごとの彩りを楽しむことができる森。

「原生林」といわれる理由

「ブナ-スズタケ群落」が残る森

「ブナ」は、聞きなれた木の名前ですね。それもそのはず、ブナ林は、日本の気候、風土が育んだ植生で(*1)、北海道から九州まで見られます。しかし一般的に広葉樹は成長に時間がかかり、冷温帯を代表する落葉広葉樹ブナの成長は遅く、5年かかって約1メートルの伸び。また、一度伐採してしまうと、その木は再生されず次第にミズナラやコナラが主の林に移り変わります。過去の伐採や、山での炭焼きも一因となり、ブナがどんどん姿を消した中で、宮古の十二神山は、希少なブナ-スズタケ群落(*2)が残っています。これは、ほとんど人の手が入っていない原生林であるという証拠です。

十二神山には、ブナ以外にも直径1メートルを越すトチノキやクリなど様々な広葉樹が生育し、秋には色とりどりの森になります。

(*1)気候帯は温度と降水量によって決まる。その気候を好む植生の森となり、植生は伐採頻度で変化する。冷温帯の平均気温6~13℃。ブナが代表格である落葉広葉樹林の好む気候は平均3~14℃、降水量500~2800mm。宮古市平均10.6℃、1328mm。(1981-2010観測所統計)

(*2)スズタケはブナの林床で育ちやすい林床植物(温度が高く気温の低い林床に生育する植物)



倒れる前の大ケヤキ

動物のすみか

十二神山には、ニッコウムササビ、ホンシュウモモンガ、オオワシ、オジロワシなど多くの動物が住んでいます。多くの動物が生息しているということは、餌となる動植物が確保されているということであり、豊かな自然が保たれていることがわかります。

「十二」がつく山、「神」がつく山 「十二神山」、君の名は・・・

お寺に行った時、よろいを身につけ、怒った顔の仏像を見たことはありませんか？それは、薬師如来とその信者を守る12の武将の像です。十二神山の中央には薬師如来、山のデコボコの一つ一つに十二神将がまつられていたといわれ、名前の由来はここにあるようです。

(尚、神将は十二の方角を守り、干支の守護神ともいわれ、今年の干支「戌」の守護神はバサラ)

〔注〕十二神山自然観察教育林までは未舗装の道があります。〕



崎山貝塚縄文の森ミュージアム 講演会 『みやこのジオ巡り』

～知識が変われば、景色が変わる！～

1月28日に行われた講演会講師は、三陸ジオパーク推進協議会の関 博充さん。講演では、

●“ジオパーク”とは、地元にとって当たり前のこと(大地や自然、風土、そこに根付いた文化や食などの地域の資源)は、実は、当たり前ではない。それを知り、楽しみ、伝える活動であること、

●どのような地に崎山があるか(*1)、
●リアス海岸のでき方(*2)、
●三陸の北部と南部の地形の違い(*3)、
●その地で育つまたは育てる食材、
などについて述べ、「知識が変われば、景色が変わる」と話されました。ジオパークは普段目にしていないもの、口にしていないものをより面白く、より美味しく感じさせてくれかもしれません。

講演の後は、地質の専門家 柳沢忠昭先生(ジオ発見新聞第8号に登場)による展示解説会。

三陸に点在して発見されている地層「宮古層群」や、摂待の大島に見られる二枚貝の化石などについて解説いただきました。宮古の名前がついた全国的に有名な地層があるなんてちょっと自慢しなくなります。三王岩はそれを間近で観察できる絶好の場所、ぜひ、足を運んでみてください。



- *1 海底が隆起し、平地となったところに縄文人が住んだと考えられる。
- *2 リアス海岸の岩盤は一般的に硬いため、海水が増えても、削られにくく、砂がでにくいいため、岬が残る。
- *3 宮古から北は断崖、南はリアス海岸が広がる。リアス海岸では波が少なく天然の港として養殖に適する。筏が並ぶ風景もここならではの。

日本ジオパーク再認定の 審査結果が発表されました



日本ジオパーク認定から4年後に行われる再認定審査が昨年10月に行われ、12月22日に結果が発表されました。結果は、「条件付き再認定」でした。

日本一広い三陸ジオパーク、2年後の審査にむけて、構成市町村が連携を深めながら、三陸ジオパークの特徴を生かした活動に一層力を注ぎ、ジオパークの普及につとめていくことが求められています。

宮古市ジオパーク協議会も、出前授業、講演会、ウォーキングイベント、など、皆様にジオパークをさらに楽しんでいただけるよう臨みます。

みなさまの「行ってみたい」「見てみたい」などのご希望もぜひお聞かせください！

ジオ掲示板

「三陸ジオパーク認定ガイド」 を目指す認定講座開講中！

三陸ジオパーク認定ガイドを目指す方、三陸のことを様々な視点から学びたいという方のために、三陸ジオパーク認定ガイド講座が行われています。10月から始まった講座も2月に行われる第7回で最終回。興味のあるかたはぜひ参加してみてください。

- 2月4日(日)13:00-15:45
- 宮古市市民総合体育館
スポーツフォーラム棟4F



三陸ジオパークガイド認定試験

ジオパークガイドを目指し、上記認定ガイド講座を受講した方を待っているのは、三陸ジオパークガイド認定試験！筆記と実技の2種の試験があります。今年は受けられなかった方、三陸ジオパーク検定を受けて更に興味を持った方、次回のチャンスをねらいましょう！

- 2月24日(土) 13:00～
- 宮古市市民総合体育館スポーツフォーラム棟3F

三陸ジオパーク検定 初級編

三陸ジオパークに興味のある方、三陸を様々な視点から学びたいという方、三陸ジオパーク検定をうけてみませんか？受験料は無料です。また、ご希望の方には、検定用テキストも無料で配布しています。ぜひチャレンジを！

- 2月24日(土) 9:30～受付
- 宮古市市民総合体育館スポーツフォーラム棟3F
- 検定料無料



上記の3件は、宮古市内の会場だけでなく、
県南や県北でも開催されるものがあります。

詳細は

三陸ジオパーク推進協議会(0193-64-1230)

にお問合せ、またはホームページをご参照ください。

sanriku.geo.com

宮古市のジオサイト紹介パンフ



www.facebook.com/Miyako.Geopark



www.twitter.com/Miyako_Geopark



ジオ発見新聞バックナンバー

